

第2回総会報告及び事業報告書公開のご案内

平成29年5月8日

各位 様

特定非営利活動法人

オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

代表理事 松田正弘

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

さて過日平成29年4月15日（土）に特定非営利活動法人 オホーツク自然エネルギー・プラットフォームの第2回総会が執り行われました。

今般、その際報告させて頂いた、事業報告内容等に關しまして公開させて頂きます。

総会は、代表理事の議事進行のもと、2016年度の事業報告・決算報告が各担当から行われ、全会一致にてすべての議案が承認されました。（議事録を参照）

また、2017年度の事業計画案、予算案が提示され承認されました。（添付資料を参照）

2017年度も、事業計画に基づき、活動を行って参ります、今後の詳しい活動状況に關しましては、隨時オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム（OHREP）のホームページやフェイスブック等で公開させて頂きます、閲覧いただければ幸いです。

今後ともにOHREPにご支援、ご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

添付書類

- ・ 2016 年度第 2 回総会議事録
- ・ 2016 年度事業報告書
- ・ 2016 年度活動計算書
- ・ 2016 年度貸借対照表
- ・ 2016 年度財産目録
- ・ 2016 年度監査報告書
- ・ 2017 年度事業計画書
- ・ 2017 年度活動予算書
- ・ 2017 年度年間役員名簿

特定非営利活動法人 オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

〒063-0002 札幌市西区山の手 2 条 5 丁目 2-1-302

- a. ホームページ : <http://ohrep.jp>
- b. フェースブック : <https://www.facebook.com/0khotskEnergy>
- c. メール : info@ohrep.jp
- d. LINE@ : ID (@マーク含む) @jpy9497w
- e. Twitter : primary_OHREP

尚、public.ohrep@gmail.com からのメールを受信許可に設定してください。

以上

特定非営利活動法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム第2回総会議事録

1. 日時 2017年4月15日（土）13時00分～14時00分

2. 場所 札幌市豊平区美園5条2丁目1-20-205号

3. 出席者数 11名（うち、書面表決者0名、表決委任者9名）

4. 議決事項

(1) 第1号議案 2016年度事業報告について

(2) 第2号議案 2016年監査報告について

(3) 第3号議案 役員の選任について

(4) 第4号議案 2017年度事業計画について

5. 審議内容

出席者は、表決委任者9名を含め、11名となり、定款第27条の定足数を満たしているため第2回総会は開会となり、議長は松田正弘が選出された。

(1) 第2回総会開会にあたり

欠席の内訳は、理事1名、理事に委任済み会員3名の計4名と報告された。

第2回総会開催日程が、2度にわたり繰り延べとなって件に関して、理事松田より準備不足とスケジュール調整に手間取った点など、陳謝の弁が示された。

今後、再発防止に努めるよう出席者全員が指摘した。

(2) 第1号議案 2016年度事業報告について

2016年度に実施した事業内容が議長により報告され、これを審議し表決した結果、出席者全員同意で確定した。

(3) 第2号議案 2016年監査報告について

布谷監事が作成した2016年度監査報告書の内容を審議した結果、次のとおり指摘を受けた、その為、活動報告書、貸借対照表、財産目録及び活動計画書を修正して、これを審議に諮ったところ、出席者全員異議なく承認した。

(ア) 立替え金の振込手数料を記載すること

(イ) 財産目録の手元現金は0円とすること

(4) 役員の選任について

議長から2017年度役員について、2016年度役員から引き続き再任とする提案の説明があり、諮ったところ全員異議はなく、次のとおり承認した。

理事 松田 正弘

理事 森谷 淳一
理事 佐藤 薫
監事 布谷 知美

(5) 第4号議案 2017年度事業計画について

資料にもとづき2017年度事業計画が説明されて、審議して表決した結果、全員一致で承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2017年4月15日

議長 松田 正弘

議事録署名人 佐藤 薫

議事録署名人 松田 正弘



2016 年度の事業報告書

2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

1 事業の成果

(1) 再生可能エネルギーおよび省エネルギー等に関する導入、促進事業の一環として、小水力開発の地域の担い手を育成する「リージョナルコーディネーター養成講座（3年間）」に参加しています、今年度は、その1年目の段階になり、以下のとおりです。

【主催】北海道再生可能エネルギー振興機構 様

- a. 基本編（小水力発電の概要、プロセス設計、関連法規、事業計画）
- b. 北海道電力藻岩発電所見学
- c. 小水力：現地調査（札幌市簾舞・豊滝地区付近）
- d. 調査資料作成「北海道における小水力発電の動向について」公開予定

(2) 再生可能エネルギーおよび省エネルギー等に関する導入、促進事業の一環として、札幌市に本社を置くパッシブホーム株式会社様が、江別市牧場町で東京ドーム1個分の土地に、持続可能なサスティナブルコミュニティーの展開を計画しており、継続して、対応しております、2016年11月号「財界さっぽろ」にも掲載され、本格的な展開が開始されました、また今般、人員に関して、O H R E P会員メンバも参画することとなりました。

【連携】パッシブホーム株式会社 様

(3) 再生可能エネルギーおよび省エネルギー等に関する導入、促進事業の関連としまして、オフグリッドなO H R E Pハウスの外部設計に着手しました、以下のとおりです。

今後、網走市北浜のオホーツクスロービレッジ様、余市郡余市町の余市エコカレッジ様、他の関係者の皆様と共に外部設計を継続して進めております。

【連携】北海道エコビレッジ推進プロジェクト 様

サーマルガジェット株式会社 様

- a. デザイン部門：スモールハウス（狭小住宅）
- b. 【融雪】地中熱（ヒートパイプ）融雪への適用
- c. 【食】農業農閑期対策と農業活性化への地中熱（ヒートパイプ）適用

(4) 再生可能エネルギーおよび省エネルギー等に関する導入、促進事業の一環として、次世代風力発電設備の調査検討および調整について、以下のとおり進めております。

【提携】地域再生可能エネルギー開発機構（石川県金沢市） 様

- a. 秘密保持契約の締結
- b. 風力発電候補地での事業化検討（稚内市沼川、石狩市、札幌市、遠軽町）
- c. 次世代風力発電設備に関する情報連携と北海道内調整

(5) 地域コミュニティ活性化のための再生可能エネルギー、省エネルギーに関する啓蒙活動の一環として、「O H R E P 湧別イベント」を開催しました、以下のとおりです。

【連携】北海道環境生活部 地球温暖化防止活動推進員制度

- a. 地球温暖化の現状について（地球温暖化防止活動推進員 加藤幸徳 様）
- b. 電力自由化と自然エネルギーのおはなし
～地域のエネルギーについて考える
- c. 意見交換

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者的人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
再生可能エ ネルギーお よび省エネ ルギー等に 関する導入、 促進事業	小水力開発の地域の担い手となる「リージョナルコーディネーター養成講座」への参加（1年目：基礎編、2年目：応用編、3年目：現地踏査）	(A) 2016 年～2018 年（1年目） (B) 札幌市等 (C) 1名	(D) なし (E) なし	0
	持続可能な社会やまちづくりを積極的に進めようとする地域のビジネスリーダーになり得る担い手の育成を目的とする「まちエネ大学」（旭川）に参加（全5回（講座：月1回開催））	(A) 2016. 10. 19 ～ 2017. 3. 3 (B) 旭川市 (C) 1名	(D) なし (E) なし	0
	SPT江別プロジェクトへの 人的サポート及び計画支援 ① 健康増進向けデータ分析、収集解析手法提案 ② 鳥取県が目指すスマートシティーと水素エネルギーの事例紹介 ③ 会員メンバの参画調整	(A) 通年 (B) 江別市 (C) 3名	(D) 江別市民 (E) 1000 名 程度	0
	オフグリッドなO H R E P ハウスの外部設計及び調整 ① デザイン部門 スマールハウス ② 北海道エコビレッジ推進プロジェクト様、感謝祭に参加 ③ これで良いのか断熱改修への参加 ④ リフレキシブルヒートパイプ活用による食、及び融雪プロジェクトでの活動	(A) 通年、感謝祭 (2016. 9. 19) (B) オホーツク地域 および余市町 (C) 2名	(D) オホーツク地域 (E) 1000 名 程度	0
つづく				

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
つづき	次世代風力発電設備のための調査検討および調整 ① 秘密保持契約の締結 ② 風力発電候補地での事業化検討	(A) 通年 (B) 稚内市沼川、石狩市、札幌市、遠軽町 (C) 3名	(D) なし (E) なし	0
地域コミュニティ活性化のための再生可能エネルギー、省エネルギーに関する啓蒙活動	OHREP湧別イベント ① 地球温暖化の現状について(選任講師) ② 電力自由化と自然エネルギーのおはなし～地域のエネルギーについて考える ③ 意見交換	(A) 2016.7.16 (B) 湧別町文化センターTOM (C) 2名	(D) 会員、一般 (E) 5名	2.25
	OHREPパンフレットの作成と配布(会員メンバによる、全10か所への展開)	(A) 通年 (B) オホーツク地域および札幌市 (C) 10名	(D) 一般 (E) 不特定多数	0
	OHREPホームページ、SNS(Facebook、Twitter等)を用いた広報活動	(A) 通年 (B) インターネット (C) 3名	(D) 一般 (E) 1000名程度	0
	オホーツク地域での基盤とする企業、団体等との連携 ① 【遠軽町】木楽館、及び瀬戸瀬温泉様 ② 【湧別町】湧鮮館様 ③ 【横浜市、遠軽町】べにや長谷川商店様 ④ 【遠軽町】ミートパビリオン YOSHIKAWA様 ⑤ 【湧別町】レイクパレス様	(A) 2016.6 (B) オホーツク地域およびインターネット (C) 1名	(D) 一般 (E) 不特定多数	0
	OHREP会員相互のコミュニケーション強化 ① 春季企画 北海道の山菜をお届けしたい ② 冬季企画 オホーツクの牡蠣をお届けしたい	(A) 年2回 (B) 稚内沼川、湧別町登栄床、インターネット (C) 5名	(D) 会員、一般 (E) 30名	0

3 現状の課題

(1) 啓蒙・広報活動事業に関するイベント開催実施数の不足について

イベント計画の立案に際し、調整する中で以下のような課題が見つかりました。

- a. イベント開催の広報が不足している
- b. 開催地への移動に係る費用負担や時間捻出に苦慮している

(2) 啓蒙・広報活動事業の会員数の伸び悩みについて

会員の獲得に際し、関係方面と調整する中で以下のような課題が見つかりました。

- a. 何を実施している団体なのか、抽象的で明確でない
- b. 会員になることで何が出来るのか、また利点があるのか明確でない

4 上記「3. 現状の課題」の解決に向けて

(1) イベント開催実施数不足の解消策について

イベント計画の立案に際し、以下の点を改善策として実施します。

- a. イベント開催計画、内容決定を年度当初に実施し、公表する
- b. 開催地は、特定の地域に固執しない

現状を変えるのは困難な部分もありますので、限りある時間を有効に使えるように工夫すると共に、場当たり的な計画は、避けなければなりません。外部団体制度「北海道環境生活部の地球温暖化防止活動推進員制度」等は、今後も積極的に利用します。

(2) 会員数増加に向けての施策について

会員の獲得に際し、以下の点を改善策として実施します。

- a. 個人向けの小規模イベント開催等で、個人に接近する機会を増やす
- b. O H R E P の会員サービスを通じて、各位の利便が得られる企画を検討する、また再生可能エネルギーの適用に関しても会員への利便を優先し、情報提供を公表する

一般にサービス利用を目的とする人々は、そのサービスの内容が、入会や退会を決める要因になると思いますが、団体の理念に共感し、団体支援の意向が高い人々の場合は、団体やその活動への共感の度合いが、入会や退会を決める要因となります。当N P O法人においても、その活動に共感してもらえるように「団体の活動が社会や地域にとって、どのように役立っているのか」を積極的に発信し、活動の意義や成果を分かり易く伝えることが、会員獲得のための重要な一歩になり得ると考えています。 その為にも情報発信の基になるホームページの定期的更新、マスメディアなどへの積極的な情報発信が有効であろうと考えます。「知名度を向上させ、より多くの人に興味を持って活動に賛同または参加して頂けるチャンスを増やすこと」、こういった施策により会員数増加という流れを作り出すことが出来ると考えております。

更に、N P O法人の総会という数少ない意思表明のチャンスにおいて、会員の参画度を高めるためのしくみや雰囲気づくりも考える必要があります。 総会のタイミングで、イベント、講演会、会員同士の交流会などを開催するのも一案かと考えます。また、これら共感で繋がる者同士の関係強化、会員登録・更新率の向上にも繋げたい。

2016年度 活動計算書
2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員（個人）会費 × 13名	39,000		
正会員（団体）会費 × 1名	5,000		
賛助会員会費 × 12口	12,000		
2.受取寄附金			
受取寄付金	570		
3.受取助成金等			
受取助成金等	0		
4.事業収益			
5.その他収益			
受取利息	0		
経常収益計			56,570
II 経常費用			
1.事業費			
会場賃借料	2,250		
事業費計			2,250
2.管理費			
通信運搬費	1,044		
事務用品費	240		
印刷製本費	890		
支払い手数料（インターネット関連費）	4,363		
振込手数料	280		
管理費計			6,817
経常費用計			9,067
当期経常増減額			47,503
III 経常外収益			
1.固定資産売却益	0		
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1.過年度損益修正損	0		
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			47,503
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			47,503
前期繰越正味財産額			31,439
次期繰越正味財産額			78,942

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

2016年度 貸借対照表
2017年3月31日現在特定非営利活動法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	47,503	
未収金	0	
流動資産合計		47,503
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		47,503
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	
2. 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	31,439	
当期正味財産増減額	47,503	
正味財産合計	78,942	
負債及び正味財産合計		78,942

様式（法第28条第1項）

2016年度 財産目録
2017年 3月 31日現在特定非営利活動法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	0		
手元現金	78,942		
ジャパンネット銀行普通預金			
未収金	0		
事業未収金			
流動資産合計	78,942		
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計	0		
資産合計	78,942		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計	0		
2. 固定負債			
長期借入金			
銀行借入金	0		
固定負債合計	0		
負債合計			
正味財産			78,942

監事監査報告書

特定非営利活動法人
オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
代表理事 松田 正弘 殿

平成 29 年 3 月 25 日

特定非営利活動法人
オホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
監事 布谷 知美 

私は平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの会計、および業務の監査を行い、
次のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、報告書を確認し、また理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 活動（収支）計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

2017年度事業計画書

2017年4月1日から 2018年3月31日まで

特定非営利活動法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

1 事業実施の方針

- ・オホーツク地域において具体的な持続性のある再生可能エネルギー源を用いた、地域のエネルギー基盤事業の導入・促進に関する実施計画の立案、及び策定を実施する。
- ・継続して、実践的な活動、また法人の安定的な運営を行うために継続した会員の募集活動、イベントやワークショップ等の開催を通じて幅広い地域の人々への啓蒙活動を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定月日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
再生可能エネルギーおよび省エネルギー等に関する導入・促進事業	再生可能エネルギー及び省エネルギーの積極的な導入に向けて、大学や民間企業、地方公共団体との連携による共同研究・技術開発などに積極的に関与する。具体的には遠軽町を中心としたオホーツク地域の活性化に繋がるような農林水産分野や観光分野への再生可能エネルギーを利用した提案活動や人的協力など。	通年	オホーツク地域	5人	不特定多数の市民	45
	SPT江別プロジェクト（次世代コミュニティタウン構想）への連携を強化する。具体的には、本格稼働に向けた再生可能エネルギー、および省エネルギー等に関連する事案に対する提案活動や人的交流を通じた情報交換や地域支援活動など。	通年	札幌市、江別市	5人	不特定多数の市民	20
	継続して、小水力開発の地域の担い手となる「リージョナルコーディネーター養成講座」への参加。具体的には（2年目：応用編）に参加する。	通年	札幌市、北海道内	1人	なし	0

定款の事業名	事業内容	実施予定月日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
つづき	継続して、オフグリッドなO H R E Pハウスの外部設計を実施する。具体的には、外壁断熱工法、パッシブハウス・デザイン、及びコーポラティブハウスの適用方法、実現方法の検討、また対象地域のイベントに積極的に参加する。	通年	オホーツク地域、余市町	3人	なし	0
持続可能な地域発展のためのエネルギーに関する調査、研究	雪氷エネルギーに関する施設の調査、及びオホーツク地域への適用方法等を含む現地調査を実施する。具体的には、まちエネ大学で寄せられた指摘事項に関する対応を通じて、その可能性について模索する。	通年	オホーツク地域、札幌市など	1人	なし	0
地域コミュニティ活性化のための再生可能エネルギー、省エネルギーに関する啓蒙活動	再生可能エネルギー及び省エネルギー等に関するイベント、ワークショップを開催する。具体的には、北海道環境生活部の地球温暖化防止推進委員制度を利用し、内容に多様性と更なる重みを持たせ、再生可能エネルギーの重要性を幅広い地域の人々に啓蒙するために可能な限り地域を限定せずに活動する。	年2回	オホーツク地域、札幌市など	5人	地域住民、延べ40人	20
	会員募集活動(継続)	通年	日本国内	5人	不特定多数の市民	5

2017年度 活動予算書

2017年4月1日 から 2018年3月31日まで

特定非営利活動法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム

科目	金額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	¥3,000× 20名	60,000	
贊助会員受取会費	20口	20,000	
受取会費 小計			80,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
4 事業収益			
事業収益	0		
5 その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0		
	経常収益計		80,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	70,000		
旅費交通費	0		
施設等評価費用	0		
減価償却費	0		
支払利息	0		
	その他経費計	70,000	
	事業費計		70,000

2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
福利厚生費	0		
	人件費計	0	
(2) その他経費			
会議費	5,000		
旅費交通費	0		
事務費 (コピー代含む)	15,000		
支払利息	0		
	その他経費計	20,000	
	管理費計	20,000	90,000
	経常費用計		△10,000
	当期経常増減額		
III 経常外収益			0
	経常外収益計		
IV 経常外費用			0
	経常外費用計		
	当期正味財産増減額		△10,000
	前期繰越正味財産額		78,942
	次期繰越正味財産額		68,942

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。

要綱様式5

前事業年度の年間役員名簿

2017年 4月 1日から 2018年 3月 31日まで

法人名	特定非営利法人才ホーツク自然エネルギー・プラットフォーム
-----	------------------------------

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	松田 正弘	札幌市豊平区美園5条2丁目1-20-205号	平成29年4月1日～平成30年3月31日	報酬なし
理事	森谷 淳一	札幌市中央区南4条西10丁目1005番地4 プレリオン札幌南4条302号	同上	報酬なし
理事	佐藤 薫	札幌市西区山の手2条5丁目2番1-302号	同上	報酬なし
監事	布谷 知美	横浜市鶴見区矢向三丁目1番5-302号	同上	報酬なし

注1 「氏名」、「住所又は居所」、「就任期間」及び「報酬を受けた期間」は、全ての役員について記載してください。

2 「氏名」、「住所又は居所」の欄には、特定非営利活動促進法施行条例第2条第2項に掲げる書面によって証された氏名、住所又は居所を記載してください。

3 「報酬を受けた期間」の欄には、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬なし」とそれぞれ記載してください。